

* 有 明 の 森 か ら *

2001,04,09

さて、では私たちがフィールドにしている有明の森はどんな状態なののでしょうか。私たちはまだ有明

の森の春の様子を知りません。一度ゆっくりと歩き回って、春の妖精たちとの出会いを期待したいものです。4月の例会は、こんな気持ちで歩いてみましょう。

もし春の妖精たちに出会えないとしたとき、ここに春の妖精たちを住まわせることができるのだろうか、というようなお話は、今度近藤先生に伺ってみましょう。

ちなみにミエフェメラル (ephemeral) とは、はかない存在とか短命なもの・短日植物などと訳されています (Random House English-Japanese Dictionary)。

★新連載★ あなたの守護樹は？

ドイツのセラピスト、ギーゼラ・プロイシェフという人の「木の癒し」(小川捷子訳、飛鳥新社)という本に、ケルト人のツリーサークルのことがでていました。ケルト人は1年を35の月と4つのシーズンに分けて、それぞれに守護樹を決めていたそうです。それぞれの守護樹の時期に生まれた人には、それぞれの生まれ持った資質というのがあるのだそうです。ここでは、このニュースレターの発行月の守護樹とその資質を紹介します。

さて、身に覚えがあるかな？

☐ 4月11日～4月20日 ☐

☐ カエデ ☐

この時期に生まれた人は、周囲の人から認められることを、強く望みます。自分を成長させるためなら、どんな人とも仲良くしようと、努力します。

☐ 4月21日～4月30日 ☐

☐ クルミ ☐

この時期に生まれた人は、人生の楽しみをつかまえ、それを守ることに情熱を傾けるといいます。また、しっかりと大地に根をおろした生き方をします。何かをするときには、非常なねばり強さで立派になしとげます。

☐☐☐☐☐ ちょっと お知らせ ☐☐☐☐☐☐

北の里山の会も発足してもうじき1年になろうとしています。正式なご案内は後日事務局からお知らせしますが、5月19日に第2回総会を開催する予定です。

今回は、北海道大学名誉教授 石城謙吉先生に基調講演をお願いしています。すでにみなさん石城先生のことはご存じかと思います。北大苫小牧演習林の林長を長くお勤めになり、荒れ果てたカラマツ林を住民に身近な都市近郊林として広葉樹林に蘇らせました。里山(とは呼ばないかもしれないけれど)とのつきあいに必要な視点など、プロのさまざまなお話を伺えるものと楽しみにしています。

みなさん、ぜひご参加下さい。

●お問い合わせは、孫田まで

TEL 011-593-0713 FAX 011-593-0502

E-mail arcsen@netfarm.ne.jp

(文責：孫田敏)